



「食のまちづくり」を進める佐伯市では年間を通して数多くの料理教室や食育講座等が開かれています。主催者は、官民や個人・団体を問わずさまざま。佐伯の誇りでもある「食」を楽しみながら地域づくりに取り組んでいます。(写真は母親クラブ「ほっとまま」による子ども食育教室の様子)

豊かなまちをつくるのは  
ふるさとを愛する豊かな人



ご当地メニューのアイデアを競う「さいき食のスター誕生！」



ご当地グルメでまちおこし！「佐伯ごまだしうどん大戦」



### 佐伯人創造塾

佐伯の魅力ある資源を知り、それに誇りを持つとともに市内外に向けて情報発信し、その活用や保全に積極的に取り組む人々を、佐伯の地域づくり、活性化を担う人材として育成。



地域を学び、まちづくりに関わる「子ども会議」

九州一の広大なやさしさ  
佐伯市 **Saiki Spirit**

# まちづくり

「まちづくりは人づくり」との思いから、佐伯市では人材の育成に積極的に取り組んでいます。次世代の産業を担う企業や人材を育成する取り組み、歴史・食文化・自然環境など地域の素材を活かして地域づくりや情報発信を行う人材を育てる取り組み、さらには、子どもたちがまちづくりに関わる機会を持ち、まちへの愛着を醸成するための取り組みなど、その内容は多岐にわたっています。

また、人材育成とともに特に力を入れているのが「食のまちづくり」です。平成20年には全国でも珍しい「食のまちづくり条例」を制定。多彩な「佐伯の食」を発信するイベントをはじめ、食に関する講演会、地域の食材を学校給食に盛り込む「さいき生き生き献立の日」や「子どもがつくる弁当の日」などユニークな取り組みを実施しています。

市内で活動する個人・団体の活動拠点として、「まちづくりセンター「よろうや仲町」」などがあります。今後とも、市民活動を支える拠点施設のさらなる充実を図っていきます。



### よろうや仲町

市民協働の拠点とすることにより、市民の社会貢献活動への参加や自立的な活動団体等の取り組みを応援する。



佐伯市食の伝導師  
柴田真佑さん

常に心にあるのは「地域づくりは人づくり、人の礎は食にあり」という言葉。毎日の食事や食に関するさまざまな体験が心と体をつくっていく、という信念を一人でも多くの人へ伝えるため、佐伯市内外の幼稚園や保育園、高齢者施設などへ出向いて食育の講演に力を注ぎ、いつしか「食の伝道師」と呼ばれるようになりました。また、食を基盤にした活動を揺るぎないものにしていこうと、「食のまちづくり条例」の制定にも携わりました。食への感謝や家族の大切さを学んでもらうため、子どもたちがお弁当を自作して持ち寄る「弁当の日」を設けるなど、佐伯のまちが育む豊かな食文化を誇りに思える人を育てています。

